

福岡都市圏南部環境事業組合建設検討委員会
第6回経営手法専門部会 会議概要

(注) VFM検証のための具体的な金額を提示するため、運営要綱に基づき非公開にて開催した

1. 開催日時	平成21年9月28日(月) 13:30 ~ 15:11
2. 開催場所	春日市役所 大会議室
3. 出席者	(1) 経営手法専門部会(※正副部会長以外は五十音順) 浦邊真郎部会長、小出秀雄副部会長、最所憲治委員
	(2) オブザーバー 福岡市：環境政策課係長 他2名 春日市：環境課課長 他1名 那珂川町：環境防災課長
4. 議 題	(1) 議事 議題1 定量的評価の再評価について(中間処理施設) 議題2 総合評価について(中間処理施設) (2) その他

(1) 議 事

議題1 定量的評価の再評価について(中間処理施設)	
【協議結果】	
●	中間処理施設の計画施設規模の変更によりVFMの再評価を行ったが、それぞれの事業方式の優位性は変わらなかった。 ・中間処理施設の計画施設規模を600t/日(200t/日×3炉)から510t/日(170t/日×3炉)に変更したことに伴い、定量的評価を再度行った結果、VFMの差は縮まったものの、『DBO>BTO>民間委託』という優位性は変わらないことを確認した。
議題2 総合評価について(中間処理施設)	
【協議結果】	
●	各事業方式とも一長一短あり、民間委託方式(※)、DBO方式、BTO方式を同時に比較すると論点が明確にならないため、下記の点について整理を行い、再度評価を行うこととした。 ・DBO方式とBTO方式は、「施設の建設及び維持管理運営を長期包括で発注することにより、民間事業者のノウハウを活用する」、「施設建設後は、組合の所有の下で維持管理運営がなされる」点で類似した事業方式であるため、まずはDBO方式とBTO方式の優劣について検証することとする。 ・廃棄物処理施設に最も求められる「安全性」・「継続性」が従来からの民間委託方式と同様に確保されることを明確にした上で、VFMの評価をすることとする。

※「民間委託方式」：第5回部会まで清掃・保守・運転等の一部業務を短期契約により民間事業者へ委託する方式を「従来型方式」としていたが、事業内容がわかる名称とするため、第6回部会より「民間委託方式」とすることとした。

(2) その他

- 行政視察について（10/26：東京都葛飾清掃工場 10/27：浜松市西部清掃工場）
- 次回開催は、10月13日（火）16：00～